

1987年(昭和62年) 5月27日 (水曜日)

石綿の危険性  
地道な研究報告

北九州市の産業医大塚慶  
彦学教室が九州で初めてア  
スベスト(石綿)と「胸膜  
ブライク」と呼ばれる肺周



辺の癌性との関係の研究に  
手をつけ、このほど学会報  
告した。そのデータを提供  
したのが共同研究者の国立

近畿中央病院(大阪府堺  
市)名誉院長の瀬良好澄さ  
ん(せり)写真。

五十七年以來五年間、大  
阪から北九州市の産業衛生  
研究機関にほぼ毎週通いつ  
め、延べ二十万人の胸部エ  
ックス線写真を検討。「胸  
膜ブライク」が発見された  
三十六人について詳細な問  
診をした。

瀬良さんはアスベストに  
よる健康障害研究の草分け  
の一人。石綿工場の集中す  
る大阪・泉南地方を中心に  
三十年以上前から労働者・  
住民の被害を調べてきた。

「九州ではどうか、と興  
味があつた。発がん性のあ  
るアスベストを知らず知ら  
ず吸引する危険はどこに  
もあることが確認された。  
これを機に社会的関心がさ  
らに高まり、法規制が強化  
されれば」と瀬良さん。

創業百年へ  
多忙変わらず

「あと二年で、わが社は  
創業百年。これからは社業  
に全力投球。やるべきこと  
が山ほどある」と、日本生  
命副社長の高橋寿常さん(た  
かひし)写真。二年間務めた関

ひと  
ひと  
ひと  
ひと